

高橋秀子氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

家庭内や社会における家父長制の影響やジェンダー不平等、仕事と家事育児の両立など、生きづらさを感じていました。党を作った時から男女平等を党是としている日本共産党からの要請だったので、今までの生きづらさ、30余年間の行政での経験や、職場で感じてきたこと、ジェンダー不平等で悔しかったことなどの経験を生かすことができるなら、次のステップはここしかないと感じました。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少。対応策は定住人口を重視する政策を進める、学校給食無償化や放課後児童クラブの充実、家賃補助、学生の新幹線通学補助など、まずは人口流出を止める政策が必要。

課題2は女性議員が少ないこと。人口の半分は女性です。立候補しやすい環境や風土作りも必要。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

鉄道高架事業では沼津市の再生は不可能。事業として継続できるのか疑問。そもそも「沼津市の再生」の定義は何かの議論もある。沼津駅周辺が整備され、きれいになっただけでは再生とは言えない。この町に生きるひとが、幸せだと思えるようなまちづくりをしなければならないと思う。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

達成可能な政策をどう打ち出すかによる。今のままでは不可能だと思う。学校給食の無償化や保育・教育環境の整備（トイレが古い汚い・不登校児童生徒対応等）など、こどもを育てる人の声を丁寧に拾い、その情報は常に更新していかなければならないと思っている。移住定住策については、家賃補助制度が有効と考える。合わせて津波避難対策、水害対策を再点検して安心して住める町を作りたい。